

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「ロータリーはあなた自身から」
— You are the key —

高田ロータリー今年の
スローガン

「友情を深め合い、
ロータリーを楽しく！」



2014～2015年度

国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン
2560地区ガバナー 佐々木昌敏
高田ロータリー会長 齋藤 尚明
幹事 牧野 章一

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
小柳 勝司 佐藤 憲二 石田 誠夫 澤井 祥典
大島 誠 堀井 靖功 永井 謙

第43回例会 ■ 5月15日(金)

No.39

会長挨拶 ● 齋藤 尚明

皆さんこんにちは。今年度第43回例会です。此のところ暑い日があったかと思うと肌寒いような日があったりと気温の差がかなり激しい日があります。10数度位違ったりすることもありますね。

こういう時は体調を崩しやすいと思います。皆様にはどうか気をつけてお過ごし下さい。

先日のニュースで御存知の方もおられると思いますが、絵画オークションで最高値が出ました。ピカソの絵が日本円で約215億円で落札されたということでした。

これについて詳しく話しますと長くなりますのでいずれお話しするとしてきょうはこれで終わります。

ごゆっくりとお食事を召し上がって下さい。

出席報告

出席率 100%

クラブフォーラム その1

～5/10地区研修・協議会報告～

水上会長エレクト



先週5月10日(日)2015-16年度地区研修・協議会がホテルオークラ新潟で開催されました。当クラブからは東山

メイクアップ

水上喜芳君・大島 誠君・東山昶也君・本山秀樹君・橋詰敏一君・佐藤憲二君・荒川 聡君・澤井祥典君・小林 元君・齊藤光雄君・羽深元悟君・牧野章一君 (5/10(日)2015-16地区研修・協議会)

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

高橋孫左衛門君——この度、日本商工会議所の月刊誌『石垣』で当店が紹介されました。プレッシャー大ですけど皆様のご支援よろしくお願ひ致します。

R財団委員会

寄付のお願ひ

幹事報告

配布物：週報No.37・38

回覧物：ガバナー月信5月号

報告：5/17越後春日山RC創立20周年式典について、5月のロータリーレート118円/ドル

PGはじめ地区役員、次年度クラブ委員長、総勢12名の方々からご出席を頂きました。

基調講演には、元RI会長の田中作次氏から「世界のロータリー」について貴重な講演をいただきました。

その中で、「1地区で、これだけ多くの参加ロータリアンがある地区協議会は私が知っている限り世界の中で2560地区ここだけだ」と称賛されま

した。

また次年度 RI 会長の K.R ラビンドラン氏は『世界のプレゼントになろう』をテーマに掲げました。

それを受け、山本 GE は地区テーマとして『夢 (gift) を明日につなげよう』としました。何れもロータリアンとしての奉仕の理想の原点ともいえるテーマだと解釈致しました。大変有意義な、この地区研修・協議会を終え事実上次年度のスケジュールが具体的に動き出します。

クラブの皆様にはご指導、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



山本秀樹君 (次期クラブ奉仕 A)

5月10日に開催されました国際ロータリー第2560地区2015-2016年度地区研修・協議会 第2セッションクラブ奉仕・会員増強委員会に出席してまいりました。

まず、鈴木重彦パストガバナーから「会員増強へのヒント」と題し講演を頂きました。その中で、まずは元気なクラブづくりから始めましょうと有り、そのために「クラブ・リーダーシップ・プラン」を大いに利用すること。また、新しい会員を探しロータリーのイベントに招き、ロータリーを実際に体験してもらう。あるいは、入会候補者向けの説明会、新会員オリエンテーションを開き交流の場を作る。などお話がありました。その後、新発田ロータリークラブから会員増強の実例報告があり入会見込者に対する継続的なアプローチが大切であること、退会者に対してはその後フォローし復帰を働きかけることも重要であるとのお話もありました。最後に各分区のガバナー補佐から会員増強の決意表明があり委員会を終了しました。以上報告いたします。



橋詰敏一君 (次期クラブ奉仕 B)

クラブ奉仕委員会・会員増強委員会にて主に会員増強についての話題が中心ではあったが、その中で会員増強・退会防止としての成功例として、重要点は例会を充実させる。例会時の席の固定化を避ける。

新入会員に対するフロー(オリエンテーション)の充実が大切である。

また、山本ガバナーの方針説明で四つのテストを念頭に、環境変革に対応、公共イメージの向上を計ることが重要です。



佐藤憲二君 (次期職業奉仕委員長)

地区職業奉仕委員会渡邊嘉子委員長より、今年度は職業奉仕を職業倫理の視点からもう一度見つめ直し、ロータリアン一人ひとりが「四つのテスト」を念頭にお

いて、当たり前が当たり前ででき、顧客・取引先・従業員等の満足度を高め、各自の職業につなげていけば世の中に対してラビンドラン RI 会長のテーマである「gift」する事につながると思いますので、次の事を実行して欲しいとの要請がありました。

1. 年間を通じて例会にて月に1回は「四つのテスト」の歌を歌う
2. 全会員に配布する「四つのテスト」のカードを常時携帯し活用してもらう



荒川 聡君 (次期職業奉仕委員長代理)

次年度社会奉仕委員会山田委員長代理で荒川が出席した。

海津委員長(白根 RC)より、次年度は「広報公共イメージ向上プロジェクト」が付加され、社会奉仕委員会/広報・公共イメージ委員会となった。

具体的事業計画では、(1)子ども虐待防止(オレンジリボン運動)の啓発・普及、(2)一般市民を巻き込んだイベント開催、(3)地区 R 財団との連携による地区補助金の有効活用の支援の3点について説明があった。



澤井祥典君 (次期国際奉仕委員長)

青少年交換委員会

1. 活動方針及び1年交換、下記交換の学生募集の依頼について

2016-2017 年度(田中年度)の募集になるが、派遣学生の推薦を是非お願いしたいとの事。

2. 1年交換制(ブラジル)に派遣の報告
国際奉仕委員会

1. 活動方針及び先に行われた各ロータリークラブ国際奉仕に関するアンケート結果報告
2. 国際奉仕活動へのアイデアとして(何をすればいいのか?)
 - ・米山奨学生の世話クラブ、R 財団奨学生のスポンサークラブ、青少年交換学生の派遣・受け入れ等クラブ活動を通じた国際奉仕活動
 - ・地域の国際交流団体や外国人留学生を抱える教育施設との協力
 - ・他の機関への協力(ユネスコ世界寺子屋運動活動への協力、海外里親制度への協力等)各クラブで是非国際奉仕活動を行っていただきたいとの事
3. ソウル国際大会の参加案内
4. グローバル補助金を使った国際奉仕についての説明

※青少年奉仕委員会、米山奨学委員会、ロータリー財団委員会の報告は次回掲載いたします。